

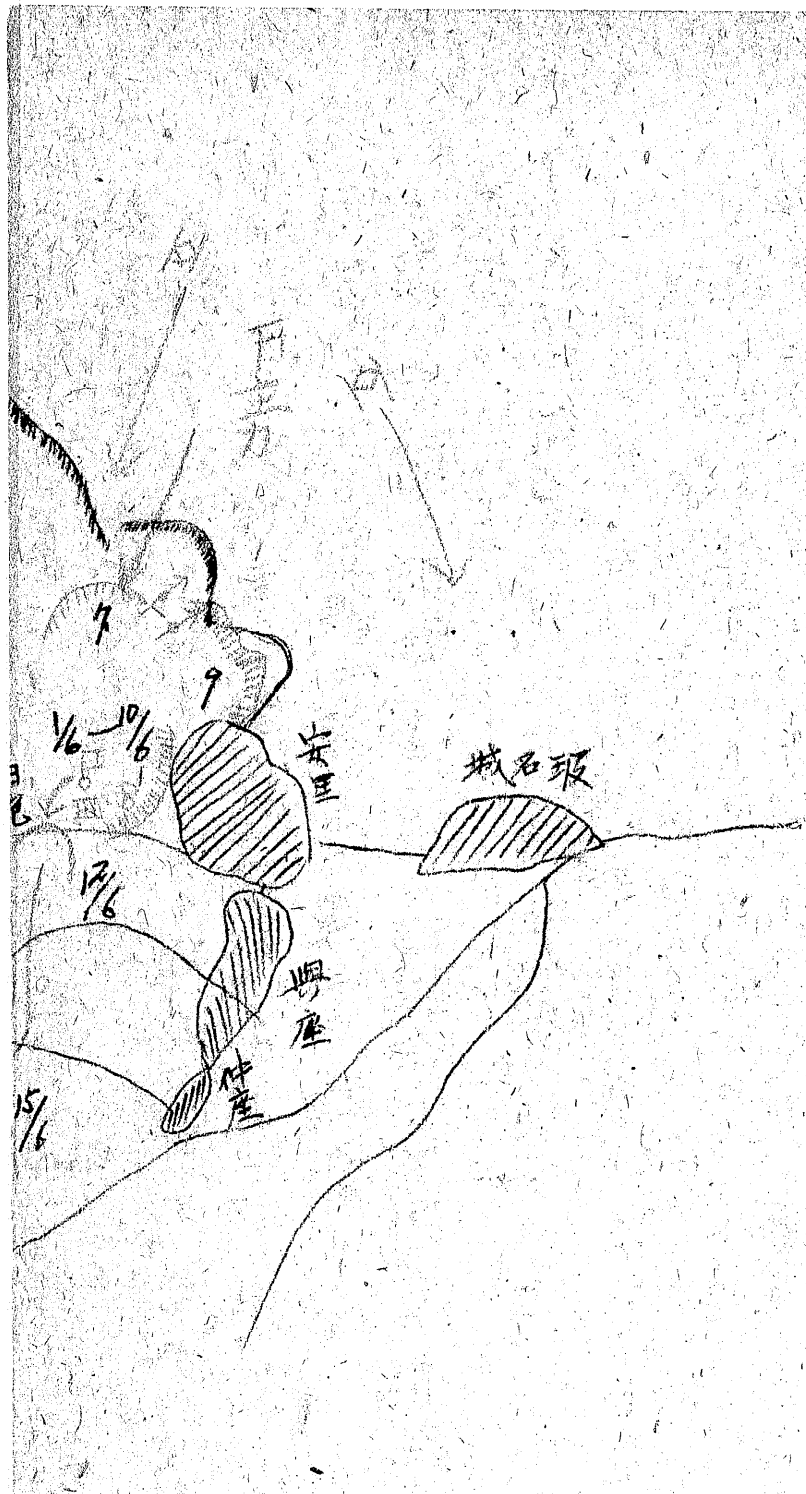
五月二十日兵力ノ減少ニ伴ヒ大隊ノ配備一部ヲ変更、松川大



要図其二 五月三十一日  
自六月一日  
至六月二十日

五戦半経過 其ノ四 自六月一日  
至六月二十日

1. 六月一日大隊ハ鳥尻郡安里附近ニ転進シ要図其ノ三ノ新配備ヲ以テ残存兵員及配属諸隊ヲ以テ最後ノ決戦ヲセシトス。  
 當時大隊固有ノ兵力ハ約九十名(員傷者ヲ含ム)ニシテ第七中隊ヲ高橋中隊長ニ第八中隊ハ今井曹長掌ヲ握リテ大隊長直轄トナリ第九中隊ノ残存者及海軍草野隊ヲMG隊長志村尉并セ指揮シテ新規應戦ノ準備ヲ整フ。  
 2. 六月七日當盛ヲ突破セル敵ハ一部破名城主力ヲ八重瀬岳ニ向テ猛撃ヲ開始ス。  
 大隊ハ聯隊ノ指揮下ヲ齎レ曰砲第一聯隊長ノ指揮下ニ入りMG中隊ヲ其ノ直轄中隊トシテ戦ヲ繼續ス。  
 3. 六月十一日敵戦車我陣内ニ突進シ来リテ陣内各所ニ死斗ヲ繰リ返シツ、兵員ノ減少甚クシテ逐次压迫セラレテ毎日百米内外ヲ後退セザルノ自レトキ状態トナレ。  
 4. 六月十五日以降最早我線ヲ維持スルノ能力ヲ完全ニ喪失シ



島尻南部安南島

要図其ノ三 自五月一日 至六月一日

負傷者ハ相次ニテ自決シ生存者極ク少数ナリ各隊トノ  
 連絡全ク杜絶シ部隊ハ四分滅裂ノ状態ナリ  
 六月十八日大隊長西村少佐ハ傳令一名ヲ率ヒテ新込反駁手ヲ  
 敢行残存員又ハ少数組ニ分テ新込隊トリ局部的戦斗  
 ニ移行ス  
 第七中隊加藤中尉トラシテ聯隊本部ニ状況報告ヲナセム  
 独混第五聯隊解体ス 昭和二十一年六月二十一日

△35  
人  
重  
瀨  
野

18/6

斗戰近附

